様式３

会　　議　　録

会議名 （審議会等名）	令和８年度第１回相模原市在宅医療・介護連携推進会議			
事務局 （担当課）	在宅医療・介護連携支援センター　電話０４２－７６９－９２５０（直通） 医療政策課　電話０４２－７６９－９２３０（直通）			
開催日時	令和８年９月１１日（金）　１９時３０分～２０時３０分			
開催場所	Ｗｅｂ開催　及び　ウェルネスさがみはら３階　集団指導室			
出席者	委　員	２１人（別紙のとおり）		
	その他	０人		
	事務局	１８人（地域包括ケア推進部長、在宅医療・介護連携支援センター所長、外１６人）		
公開の可否		■可　□不可　□一部不可	傍聴者数	０人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議　題		１　開　会 ２　議　題 （１）**第１０期高齢者保健福祉計画について** （２）**（仮称）地域リハビリテーションに関する部会の設置について** （３）**部会の報告** （４）**「入退院支援の手引き」の素案について** ３　その他 **（１）アウトリーチ事例検討会について（情報提供）** **（２）在宅医療・介護連携講演会について（情報提供）** ４　閉　会		

議　事　の　要　旨

1　　開　　会

・委員の変更について

社会福祉事業団　小林委員の退任に伴い、長沢氏が委員に加わった旨、事務局より説明した。

2　　議　　題

（1）第１０期高齢者保健福祉計画について

事務局より資料に基づき、説明した。

（内田副会長）　人材育成については、特にケアマネジャーが強化ポイントとして課題になっているのではないかと思う。強く打ち出していただけたらと思う。

また、在宅での医療体制も進んでおり我々もお世話になっているが、危惧する点としては、在宅医の企業化のようなことがある。かかりつけ医が崩壊してしまうのではないかと心配している。データの情報共有が難しく感じることがある。在宅療養を経て入所する場合、主治医が決まっていることもあり、変えることが難しい。市医師会に相談することも考えている。

歯科の訪問については、緑区は広くかなりの距離があるため苦労されているという話も聞いている。

（2）（仮称）地域リハビリテーションに関する部会の設置について

事務局より資料に基づき、説明した。

（梅澤会長）　横浜や川崎では事業を実施しているようだが、例えばどのようなスタッフが、どこで、どのようにやっているというような情報はあるか。高齢者と同じ場所で同じスタッフが同じことをやるわけにはいかないと思う。就労支援になるとかなり高度なリハビリテーションの技術が必要になると思うが、何か情報はあるか。

（事務局）　横浜、川崎は診療所を設けて大きなリハビリテーションの体制を取っているが、本市ではそういった施設は持たない。障害の分野に関しては中途障害者等が退院してから在宅に向かう際の相談窓口が全くないという現状があるため、まずは初期の相談を受ける体制を整え、その後は、高齢者の短期集中予防サービスなどでご尽力いただいているネットワークを生かしながら障害にもその体制を使っていきたい。そういった点に皆さまのご意見をいただきながら検討をしていきたいと考えている。

（佐藤委員）　政令市としては本来あるべきというところで、民間のセラピストを活用した形でのセンター機能には前向きに捉えていただきたいと考えている。

先ほど会長が仰ったとおり、高齢の領域で行われている短期集中予防サービスについても、民間のセラピストが動きながら、介護予防に貢献させていただいているが、医師との連携において、医学的情報が非常に少ない状況の中でセラピストが動いている実情もある。中途障害は身体に現れている症状や内科的な管理という部分ではセラピストも医師の指示のもとで動くというのがベースにあるため、診療上の機能や市内の医師会との連携は外せない部分であると思っている。

部会が進んでいく中では、なるべく早めに、相模原市のリハセンターで何が出来るのかを明確化していく中で、市内にある病院・施設・事業所の特性の把握を進めながら、早めに打ち出していく必要があると思う。地域の資源発掘も早急に進めていかなければならないと感じた。

（土田委員）　基本的には、受傷して医療保険のリハビリ期間が終わった後、家に戻すときに活用できる資源が増えるイメージか。

（事務局）　そのとおりである。退院されてからご自宅に戻って回復するまでに、どこに相談したらよいか、何をしたらよいか、相談先が中々見つからないというお話をいただいている。そういった初期の相談窓口をまずやっていきたいと考えている。

（梅澤会長）　整形外科的なリハビリテーションに関しては疾患別に保険診療におけるリミットがある。リミットまでは医療でもしっかりと対応できるが、その後がいきなり一般的高齢者向けリハビリしか道が無い。そのため専門的なリハビリができず、ＡＤＬが落ちてしまうことは医療の世界でも問題になっていた。そういったことに仕組みや場所、報酬があれば出来ることは増えると思う。

（３）部会の報告

梅澤部会長より資料に基づき、説明した。

※質疑、意見なし

（４）「入退院支援の手引き」の素案について

（斉藤委員）　先ほど事務局からの説明にあったとおり、第１０期計画の「身寄りのない高齢者等の入退院支援」や、「地域リハビリテーション支

援体制の構築」など、市の施策にリンクする形で改良していけると良いと感じた。

また、内田副会長からご意見をいただいたケアマネジャーの強化についても、この手引きは専門職向けに作っており、経験年数問わず、手引きを参照すれば色々な施策が網羅されているため、色々なところに繋がっていけるものとして、現行の９期計画や次期計画ともリンクした形で充実したものを作っていければと思う。

３　　そ の 他

（１）アウトリーチ検討会について

事務局より資料に基づき、情報提供を行った。

※質疑、意見なし

（２）在宅医療・介護連携講演会について

事務局より資料に基づき、情報提供を行った。

（水上委員）　アウトリーチ事業や講演会の周知について、在宅医療・介護連携推進事業の中で、ＭＣＳを利用した多職種連携を進められているかと思う。先ほど報告のあったアウトリーチ事例検討会について、既にＭＣＳで周知していただいているが、１０４人登録されている中で「見ました」とチェックを付けているの方は５人だけである。ＭＣＳも、実務として使えなければ意味が無い。市も、どこまでの事業者を入れるのか。現状では医師、ケアマネジャー、訪問看護ステーションが大多数を占めており、薬剤師や福祉事業者の方も入られている。本日の会議でも各種団体の方が出られていて、まずＭＣＳ自体知らなかったり、アカウントを持っていない方も多数いらっしゃると思う。１事業団体同士で済む話では無く、包括事業になってくるかと思うので、どれだけ共通の認識を持って色々な団体が取り組むかということが今後非常に大事になってくると思う。ＦＡＸやメールだと大変なので、ＭＣＳを通して誰でもどこでも見られることを周知する方法も協議していただき、進めていただければと思う。今後、災害等も含め役立つツールになるかと思う。ここに参加されている委員の方から始まる繋がりになれば良いと思い意見させていただいた。

（梅澤会長）　ＭＣＳではどのように見られるか。クリックしないと見られないものか。

（水上委員）　ＭＣＳはパソコンだけでなくスマホでも利用でき、投稿があるとアプリのところに表示があり、既読しなければ通知はされるため、確認はしやすいかと思う。

（梅澤会長）　登録はしていても現在利用していなければすぐに開かない可能性がある。

（水上委員）　仰るとおりである。そのため、例えば定期的に連絡するなどの手段があれば習慣づくかと思う。

その他：次回の予定について

（事務局）　１１月６日（金）に第４回入退院支援の手引きワーキンググループを開催予定。連携体制等に関する部会は来年１月頃に、在宅医療・介護連携推進会議は３月頃に開催予定。部会と推進会議の日程は別途調整させていただく。

４　閉　会

以　上

相模原市在宅医療・介護連携推進会議委員出欠席名簿（別紙）

	氏　　名	所　属　等	備考	出欠席
1	石井　和也	公益社団法人神奈川県看護協会相模原支部		出席
2	伊藤　憲秀	地域包括支援センター（中央区）		出席
3	内田　善久	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	副会長	出席
4	梅澤　慎一	一般社団法人相模原市医師会	会長	出席
5	和田　理江	地域包括支援センター（緑区）		出席
6	菊地　歳光	相模原市ホームヘルパー協会		出席
7	長沢　伸孝	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席
8	小山　仁	地域包括支援センター（南区）		出席
9	斉藤　正和	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
10	佐藤　隼	相模原地区訪問リハビリテーション連絡会		出席
11	澤田　弘之	公益社団法人相模原市薬剤師会		出席
12	澤野　将文	相模原市介護老人保健施設協議会		出席
13	下井　麻紀子	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
14	杉谷　雅人	相模原市認知症疾患医療センター（連携型）		出席
15	田中　雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
16	土田　陽子	さがみはら介護支援専門員の会		出席
17	中野　太郎	公益社団法人相模原市病院協会		欠席
18	中村　準	相模原市認知症高齢者グループホーム連絡会		欠席
19	久松　信夫	学識経験者（桜美林大学）		出席
20	松岡　一美	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
21	廣瀬　憲一	公益社団法人相模原市病院協会		出席
22	松岡　義人	相模原市小規模多機能型居宅介護事業者連絡会		出席
23	水上　潤哉	一般社団法人相模原市医師会		出席

（敬称略、５０音順）